

新規医療イノベーションのためのシンポジウム 2016

日時： 平成 28 年 12 月 5 日（月） 10:00-16:45 17:00 から意見交換会

場所： 大阪大学銀杏会館・大会議室

10:00-12:00 セッション1 プロジェクトの進捗状況（次年度以降の計画も含む）

はじめに（全体の進捗状況、日本の状況など）

加速器（新加速器・ビームライン等） 福田 光宏（阪大 RCNP）

RI 製造（211-At 製造・精製） 篠原 厚（阪大院理）

ターゲティング分子合成（標識薬剤の合成と評価） 深瀬 浩一（阪大院理）

核医学（整備状況、動物実験・At イオンの体内分布） 畑澤 順（阪大院医）

短寿命 RI 供給プラットホームについて 福田 光宏（阪大 RCNP）

12:00-13:30 ランチ、ランチミーティングなど

13:30-15:00 セッション2 講演 各（25+5）×3

「Ra-223 塩化ラジウムによる前立腺がん治療」 磯橋 佳也子（阪大院医）

「甲状腺癌の転移巣に対する放射線内用療法の現状から将来の展望について
（臨床の立場から）」 中田 幸子（阪大院医）

「現在の放射性医薬品の供給体制について」 新村 俊幸（日本放射性医薬品協会）

<ブレイク>

15:15-16:45 セッション3 話題提供・討論（レギュラトリーサイエンス、臨床試験へ）

「国のがん対策と核医学内用療法」（25+5）

講師： 厚生労働省地域医療課 課長補佐 渡部 直史

「臨床試験へ進む上での非臨床試験について」（30）

その1. 創薬の視点から 矢野 恒夫（住友重機械/阪大院理）

その2. 留意点について 蜂須賀 暁子（国立医薬品食品衛生研究所）

「次期ステージへの計画と課題（各パートから）」（30）

「医理核連係研究センターの設置に向けて」 篠原 厚（阪大院理）

「核物理研究センターアップグレード構想」 中野 貴志（阪大 RCNP）

総合討論 金田 安史（阪大院医）

17:00-(18:30) 意見交換会 ミネルバ